

## 背景

- ✓ 食品への異物混入事件が相次いで報じられるようになり、意図的な異物混入から、食の安全を守るフードディフェンス（食品防御）に対して注目が集まっている。

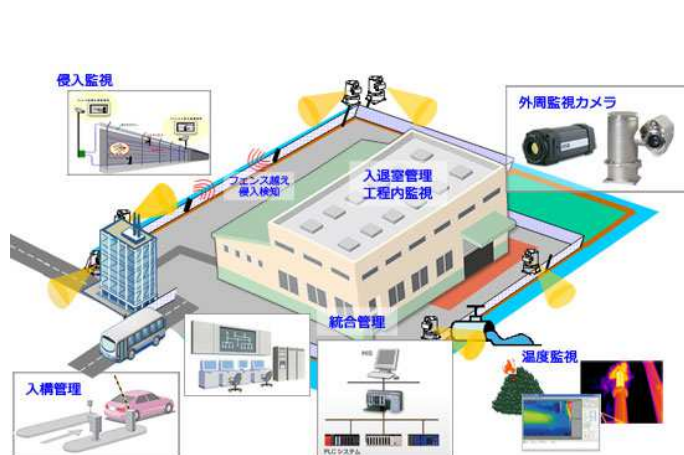
## お客様の課題

- ✓ 不正侵入者による異物混入やレシピ、生産技術などの機密情報漏洩を検知、防止したい
- ✓ 監視カメラの録画データを活用し、工程改善を実現したい

## 提案

### 食品工場の敷地及び工場内のセキュリティを強化する、トータルフードディフェンス

- ✓ 何かが起こる前に防ぐ仕組み、何かが起こってしまった後に追跡できる仕組み、これらの仕組みをトータルの視点からご提案いたします。



#### 入構管理

敷地内への入構は関係者のみ

#### 入退室管理

工場内の入館及び製造工程内への入室は関係者のみ

#### 工程内監視

原料・製品トレーサビリティと作業工程監視映像による記録を管理

食品安全システム認証規格 FSSC22000 取得対応

食品製造業向け食品安全システム FSSC22000 構築のための

前提条件プログラム ISO/TS22002-1:2009 の要求事項18項

「フードディフェンス、バイオビジランス及びバイオテロリズム」を実現可能にします。

## 活用事例

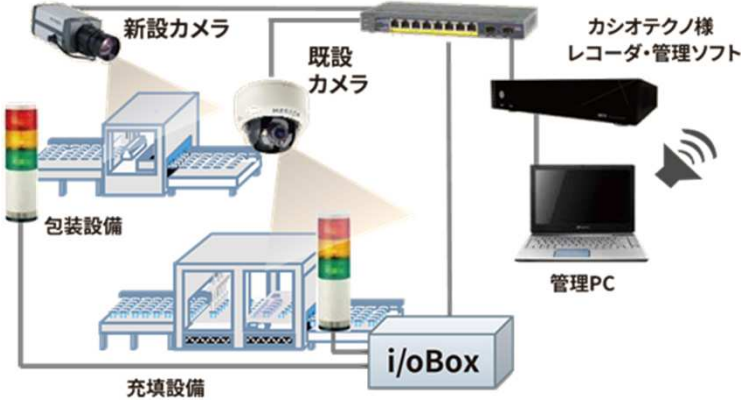
トラブル時に映像検索するのに  
何時間もかった

カメラを設置したけど  
一度も再生したことはない

設置要求されても  
投資対効果が見合わない

監視目的では、従業員との  
信頼関係に影響が出そう

### ① 設備アラームと連携・トレーサビリティ強化



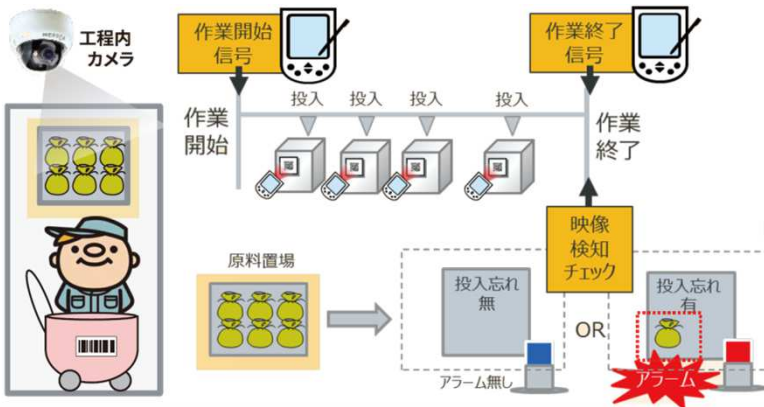
#### 解決策

- 設備トラブル信号と映像記録を同時に取込み
- 既存・新設カメラ問わず、同一レコーダに記録

#### 効果

- 映像記録によるトレース作業が容易になる  
(全て再生してトラブルポイントを人手で探していた)
- 各検査機器で排斥された製品を作業者が  
どのように確認・対応したかがトレース可能

### ② 原料投入忘れ防止



#### 解決策

- 原料置場をカメラで監視
- 作業終了時に投入忘れ原料を映像検知し  
アラームを出力して次工程に進ませない

#### 効果

- 原料の投入防止
- ダブルチェックをなくし、一人で確実な作業を  
実施し、映像記録でトレースも可能

### ③ 作業分析による現場改善



#### 解決策

- 管理者が異なる開始時間の映像を比較しながら  
作業分析し、業務改善につなげる
- 過去映像とライブ映像を比較、分析も可能

#### 効果

- シフト毎の作業分析を行い、モデルとなる  
作業を担当者で共有

## 横河電機株式会社

プロダクト営業センター ソリューション営業部  
TEL 0422-52-5549  
E-mail ccm\_contact@ml.jp.yokogawa.com  
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

記載内容はお断りなく変更することがありますのでご了承ください。  
記載されている製品名は横河電機株式会社および各社の登録商標または商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 2017, by Yokogawa Electric Corporation